

# ワークショップ① 春日池公園の説明を受けての感想

**春日池**

- 自然**
  - 自然: 森の維持、池、景観
  - 自然活用 (植物と自然をどう活かすか)
  - 自然メインの公園を大切にしないとダメ
  - 植物の整備・維持管理・歴史が分かる → 数表
  - 空の持ち戻し 自然のポテンシャル
  - 春日池の自然下川 川沿いの植物はしっかり維持が必要。現状でもしっかり維持してほしい。
  - 自然と大地を守っていく。
- 基本計画**
  - 基本計画は良く出来ていると思う。今後リニューアルは基本計画を尊重し維持を考慮
  - 基本計画が何となくズレている？
  - 基本計画が思い通りに進んでいない
  - 基本計画のゾーンに、造られた意図や目的がわかるように知られてほしい。
  - 80年後、どんな公園になっているのか？ 水は蓄ると大事
  - 設計・計画の段階では、全体的に西洋の雰囲気かイメージされている (特にポイント・質問)
  - ポイント: 自然美観、ポイント・質問
  - ポイント: プラントに屋外美術館のイメージがあったことに驚き
- 歴史・思い出**
  - 多岐の用途に思い出す。子育ての記憶がある大切な場所
  - 歴史を知らずに何故福山が篠原町にたつたかわからず、地名まで不詳
  - 時代背景に馴染みがない
  - 春日池が池から公園になったのは昭和17年の改修で住居地と遊園地が隣り合った
  - 40年以上の歴史を大切にしたい
- 地域へのつながり**
  - 地域の公園とつながっていた
  - 公園と地域のつながり
  - 重なり合った歴史がモロモロ作業の一部にかかると感じられる
- 今後の整備**
  - 管理棟が解体して、車庫やトイレなど整備が必要
  - 改善・整備をすれば、公園の可能性や場所が改善される
  - 公園と改変取にあって、残すべき部分と変えべき部分の区別が必要
  - 高圧配線は屋根の下に隠すようにしてほしい
  - 2025年の計画は、10月までに計画を確定させる
- 高齢化**
  - 高齢者にも楽しめる施設が必要
  - 最も急務: 高齢者の安全確保
  - 健康寿命: 寿命が延ばせない
  - 歩行運動: 補助する設備
  - 歩けなくなりつつある高齢者対策ができていない
  - お散歩の準備: 階段の整備、お水
  - ポイント・質問: 歩行補助器具
- ポイント・質問**
  - 全特性: 個性、個性、個性

# ワークショップ② エリアごとの活用イメージ(自然散策・春日池・四季の森)

**まよ**  
**「知る」調査**

- 自然散策**
  - 自然散策のイメージ: 自然散策のイメージ、自然散策のイメージ、自然散策のイメージ
  - 自然散策のイメージ: 自然散策のイメージ、自然散策のイメージ、自然散策のイメージ
- 春日池**
  - 高台は、みよくび!
  - 景観をさらに美しく、植物を生かすのには、自然散策のイメージ、自然散策のイメージ、自然散策のイメージ
  - 春日池の鳥を育てるイメージ
  - 池からの夕日が美しい
- 四季の森**
  - 四季の森: 自然散策のイメージ、自然散策のイメージ、自然散策のイメージ
  - 四季の森: 自然散策のイメージ、自然散策のイメージ、自然散策のイメージ
- ポイント・質問**
  - ポイント・質問: 自然散策のイメージ、自然散策のイメージ、自然散策のイメージ
  - ポイント・質問: 自然散策のイメージ、自然散策のイメージ、自然散策のイメージ

# ワークショップ② エリアごとの活用イメージ(中央広場・芝生広場・春日池)

## ②春日池

現状・特徴

- 鳥や、公園、そば、ゴミが浮いている。池の近くまで行くことができない。
- 水際空間 池と園路との間の空間。立ち入ることはできないが、野鳥が羽を休める姿も見られる。
- ウテビ 江戸時代につくられた構造物を今でも見ることができ。

活用イメージ

- 「フリーマーケット」家庭の不要品は、お金の必需品!
- 「音楽の自由!!」自分の好きな音楽を聴かせたい!!
- 「ワークショップイベント」
- 「石の下に何かあるのかもしれない!!」
- 「リハビリ運動」健康維持、高齢者対策
- 「コミュニケーションの深化」情報交換
- 「健康維持の場として」
- 「高齢者のための健康」
- 「水際空間」
- 「ウテビ」

その他

- 「雨の日に過ごせよう」
- 「安全」
- 「横の交流」「世代間の交流」

# ワークショップ② エリアごとの活用イメージ(中央広場・芝生広場・春日池)

## ③中央広場

現状・特徴

- 広場的な使い方ができる園路としてつくられた。
- 一種の屋外美術館のようなイメージも持たされている。
- モニュメントは人が語らいの場となることを期待して作られている。
- 草がぼうぼうとなっている。
- 花壇に花が植えられていない。
- モニュメントの作品の説明がない。
- ベンチが老朽化してぼろぼろになっている。
- タイルが部分的に剥がれている場所がある。
- 管理事務所が有効に活用できていない。(現在は公園の清掃等を行う事業者の倉庫・休憩所として利用している。)

活用イメージ

- 「時間帯で利用層がかわる」夜も使いたい!!
- 「7-11」
- 「7-7」(子ども参加)
- 「子どもたちのカードバトル大会」
- 「基本計画の段階」屋外美術館、ベンチ、彫刻、モニュメント、イメージ、西洋風
- 「中央・芝生広場」とともに手入れが必要
- 「エントランス有効活用したい!!」
- 「タイルが剥がれていて、そこをどうするか」
- 「ラジコンしたい」
- 「孫自慢大会と赤ちゃんのハイハイレースがしたい」

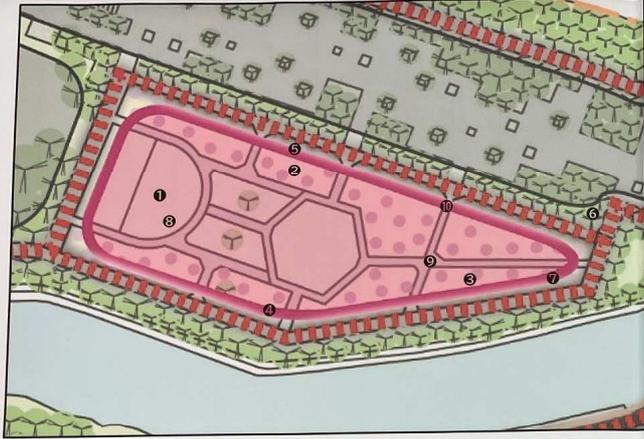
その他

- 「公園のエントランス」公園の正面入り口から最初に見える景色で、奥にはモニュメントが見える。
- 「舗装」舗装は石畳調のタイル張りであり美術館調の雰囲気が出されている。
- 「モニュメント「太陽の滴」」広場の先に、橋谷一真氏により制作されたモニュメントが設置されている。
- 「モニュメント「太陽の滴」」モニュメントは近くまで立ち入ることができる。
- 「ベンチ」休憩のためのベンチが置かれているが、老朽化したものも見られる。
- 「モニュメント「太陽の滴」」モニュメントには砂利が敷かれ雑草が生えないようになっている。
- 「管理事務所」トイレが併設された管理事務所は、管理者の休憩所・倉庫として利用されている。



# ワークショップ② エリアごとの活用イメージ(ばら園)

## ⑥ばら園(花の広場)



### 現状・特徴

- 第2のばら公園を構想しながら、西洋風の庭をイメージされている。
- 42品種・2,300本のばらが植えられている。
- ばらの名前の表示も設置されており、多様なばらが植えられている。
- 枯れ木が多い印象がある。
- 藤棚は蔓が垂れているなどしているため、入り口付近が暗い。
- ベンチが少ないのでゆっくりできない。

### グループD

ばらの作者  
由来が  
くわしく  
プレート

自分たちも  
入れたり  
手入れを  
する  
家畜を  
持てては？

講習会を  
ここで実施

みんなで  
手入れ!

席をゆくり  
ばら見たい  
(ベンチ欲しい...)

写真  
とりたい!

ばら回廊の  
案内板を  
設置



①西洋風の庭  
西洋風の庭をイメージして作られたばら園全体を眺めることができる。



②2,300本のばら  
シーズンには2,300本のバラが咲き誇る様子を楽しむことができる。



③ばらの管理  
市職員や委託業者により、ばらの剪定や除草などが行われている。



④園路  
ばら園内をウォーキングのコースとして利用する人も多くみられる。



⑤藤棚  
中央広場側には藤棚のトンネルがつけられている。



⑥駐車場側からの入口  
入口側にもばらが植えらればら園の存在が分かりやすくなっている。



⑦舗装  
ばら園内の園路は、ばらの色が生える土系の舗装となっている。



⑧段状の花壇  
ばらを立体的に楽しめるように段状の花壇になっている。



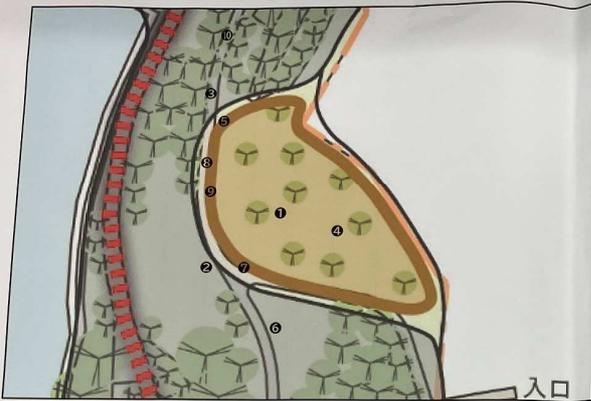
⑨管理  
ばらの季節以外は、花壇内は雑草が伸びた状態になってしまっている。



⑩藤棚の入口  
藤棚の入口は蔓が垂れてきており、トンネルに入りづらい印象を与えてしまっている。

# ワークショップ② エリアごとの活用イメージ(ばら園)

## ⑦ばら園(四季の森)



### 現状・特徴

- 緩やかな法面として春日池を展望できるスペースとしてつくられた。
- 21品種・1,000本のばらが植えられている。
- 木が伸びており池を眺めることができない。
- 花の広場と比べて、ばらが少ししか植えられていない。
- 人にあまり立ち寄りされていない。
- 案内板がなく、園路もガタガタになっていて行きづらい場所になっている。

### グループD

⑦ 景観を楽しむ  
ながらばら園の  
向を散歩したい

木で見えなくて  
かたはらばら  
といても  
いいかも

ゆるゆる  
遠くから  
来てもらえる  
ように??

この木を  
切って?



①1,000本のばら  
ばらの季節には1,000本のばらが咲き、ばら園(花の広場)とは趣きが異なる。



②アクセス  
丘になっており、登り坂を上った先に見える景色の移り変わりを楽しめる。



③花壇  
シーズン以外は草がのびてしまっている。



④ベンチ  
丘の上から春日池を眺める設計であるが、樹木が伸び、現在は池を望むことができない。



⑤園路  
分かれ道がつけられ、歩きながら楽しむことができる。



⑥自然(どんぐり)  
園路沿いにはどんぐりがたくさん落ちており、ちょっとした広場のように使われている。



⑦ばらの手入れ  
シーズン以外も、ばら園部分は手入れがなされている。



⑧利用者  
ウォーキングや犬の散歩があまり見られない。



⑨案内板  
案内板が設置されていない。



⑩園路  
路面がガタガタになっており、通行しにくい状態となっている。

バラ棚?  
つくってみる  
(ウォーキング中の  
人が通れるように)

入り口  
(登り口)に  
ばらの下を

あまり立ち寄りがないため